

チリの柑橘類事情(レモン)

米国農務省GAINレポート 2024年12月17日

これは米国農務省海外農業局サンチャゴ事務所(チリ)が作成した「柑橘類年次報告書」の概要及びレモンの項(他の品目は生産需給統計表のみ)を訳したものであり、米国政府の公式見解及びデータとは異なる場合があります。

概要

当事務所はチリの2024/25販売年度(年度)のレモンの生産量を、栽培面積の増加と平年並みの収量を前提に、2.6%増の19万7千トンと予測する。レモン輸出量は3.3%増の合計9万3千トンと見込む。2024/25年度のオレンジ生産量は、栽培面積の増加と平年並みの収量を前提に、2.2%増の合計19万トンと予測する。これに伴いオレンジの輸出は3.0%増の10万3千トンと見込む。2024/25年度のマンダリン生産量は、栽培面積の増加により13.1%増の合計25万トンと見込む。同様に、マンダリンの輸出量は前年比14.1%増の21万8千トンと見込む。

<レモン>(レモンには貿易統計上レモンと同一区分のライムを含みます。)

表1 チリのレモン及びライムの生産需給統計

レモン/ライム(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2022/2023		2023/2024		2024/2025	
	2023年4月		2024年4月		2025年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	8,081	9,310	8,150	9,926	0	10,400
収穫面積(ヘクタール)	8,000	8,500	8,050	8,800	0	9,000
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	164	164	175	192	0	197
輸入量(千トン)	13	13	10	8	0	8
総供給量(千トン)	177	177	185	200	0	205
輸出量(千トン)	68	68	74	90	0	93
生鮮国内消費量(千トン)	99	99	100	100	0	101
加工仕向量(千トン)	10	10	11	10	0	11
総仕向量(千トン)	177	177	185	200	0	205

公式データは [PSDOnlineAdvancedQuery](#) からアクセスできる。

出典: 当事務所推計

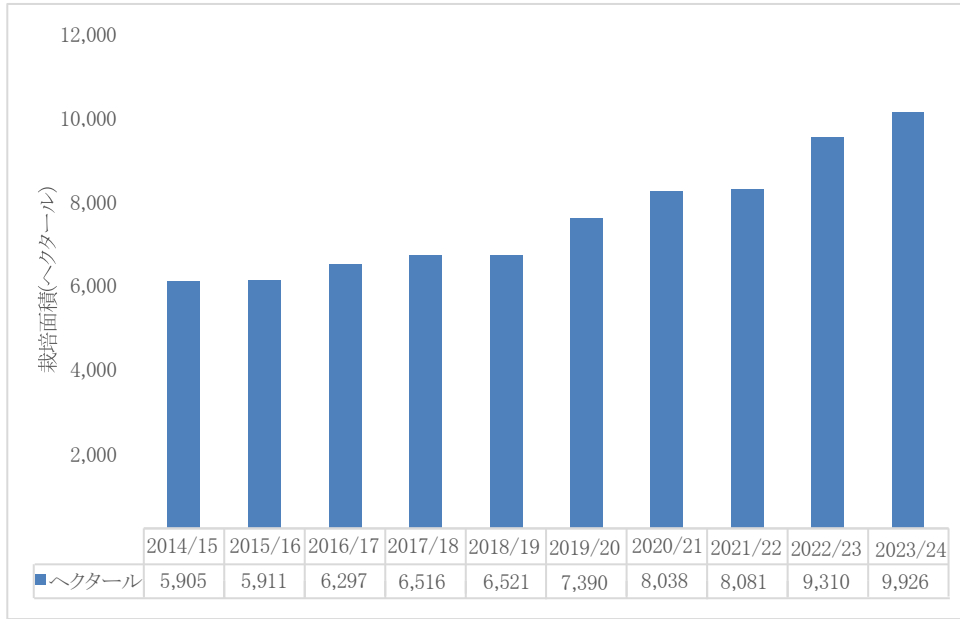
生産

当事務所は、2024/25年度のレモンの生産量を、栽培面積の増加と平年並みの収量を前提に、前年比2.6%増の19万7千トンと予測する。レモンの2024/25年度の栽培面積は、前年比4.8%増の10,400ヘクタールと予測する(図1)。生産者らは、レモンは価格が高く栽培に必要な水の量が少ないため、その生産と輸出がアボカドなど他の作物に代わる収益性の高い代替手段であることを見出しており、チリのレモン栽培面積は、過去10年間、一貫して増加してきた。

レモンの生産は、国の北部のコキンボ州から中南部のオイギンス州にまで及ぶ(地図1)。しかし、栽培面積の40%以上は、チリ中央部のメロポリターナ州にある(表2)。レモンの栽培面積は、2.1パーセント減少したオイギンス州以外のすべての生産州で増加した。

チリのレモンの収穫は4月に始まる。6月から9月にかけてのチリの冬には、国際価格が国内価格を上回るため、チリの生産者の大部分はレモンを北米、ヨーロッパ、アジアに輸出する。出荷量が減少し、国内価格が高い12月から3月までの夏季には、チリ産レモンは国内市場で販売される。

図1 レモンの栽培面積(ヘクタール)



出典: ODEPA(農業省調査政策局) 2024年

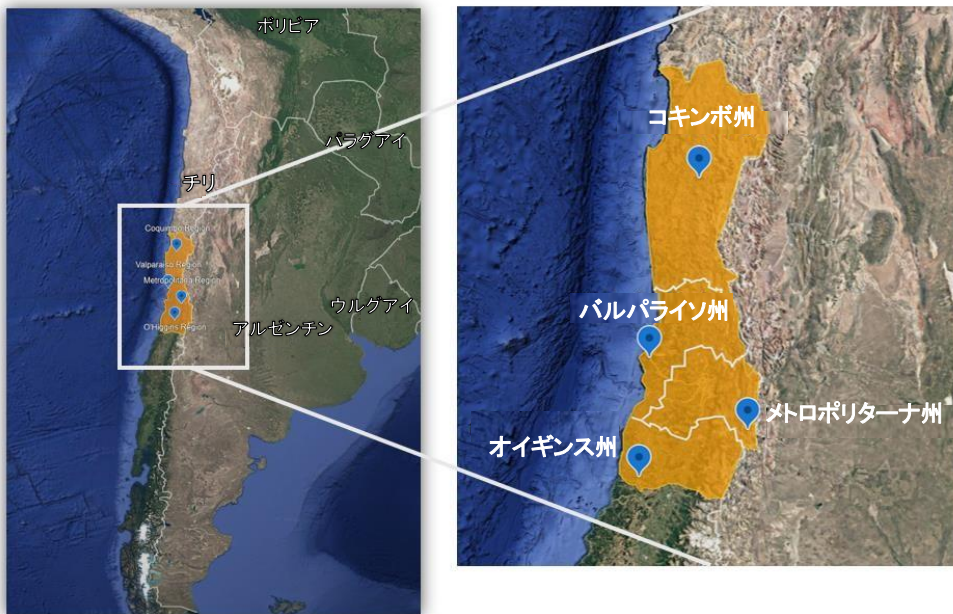
表2 州別レモン栽培面積 2023/24 年度(ヘクタール)

州	植栽面積(ha)	増減率*(%)	シェア(%)
コキンボ州	2,145	31.7%	21.6%
バルパライソ州	2,543	25.8%	25.6%
メトロポリターナ州	4,010	21.4%	40.4%
オイギンス州	962	-2.1%	9.7%
その他の州	266	-	2.7%
合計	9,926	23.5%	100.0%

*栽培面積の増減は3年ごとに測定される。表示されたデータは最新の入手可能なものである。

出典: ODEPAのデータに基づく

地図1 柑橘類の産地



出典: Google Earth を用いて当事務所が作成

消費

当事務所は、2024/25年度のレモンの国内消費量を、人口の増加により1%増の10万1千トンと予測する。国内のレモン消費量は、商業的生産量の51%を占めている。生鮮レモンの消費量は、生のレモンを使用したサラダや飲料の消費量が増えるチリの夏の期間(12月～3月)にピークに達する。この期間には国内供給量が減少するため、レモンの消費需要をカバーする目的で輸入量が増加する。

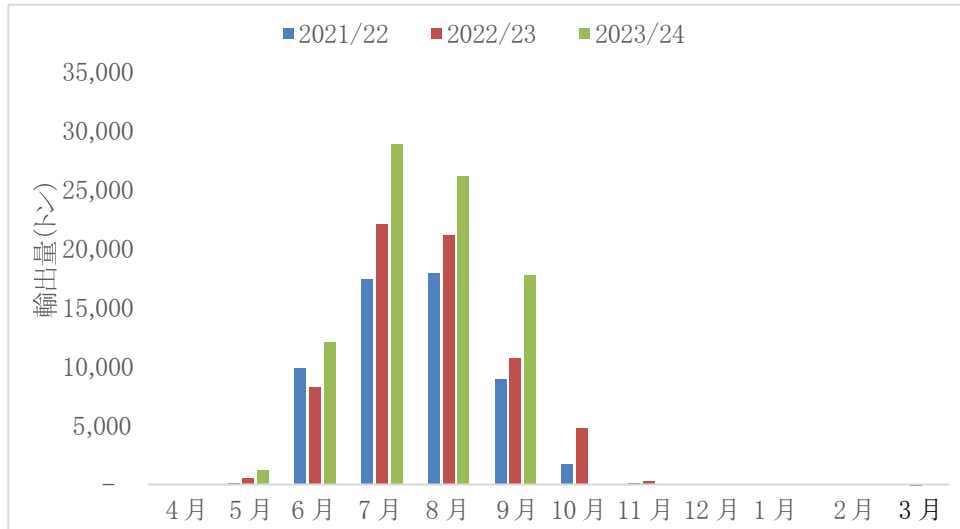
2024/25年度の加工用レモンの消費量は前年比10%増の1万1千トンと予測される。この加工量の増加は、生産量の増加によるものである。加工用のレモンは、果汁、エッセンシャルオイル、菓子用の濃縮物の製造に使用される。

貿易

当事務所は、2024/25年度の輸出量を、生産量の増加に伴い3.3%増の9万3千トンと予測する。チリ産レモンの最大の市場は米国である。2023/24年度(9月までのデータ)には、チリはレモン輸出量の65%を米国に出荷した(表3)。2023/24年度のチリ産レモンのその他の上位市場は、日本、韓国、オランダ等であった。2023/24年度(9月までのデータ)の輸出量は、メロポリターナ州とバルパライソ州で良好な天候条件により生産量が増加したため、前年比37.4%増加した。

チリでは、レモンの販売年度は収穫が開始される4月に始まる。輸出の大部分は毎年6月から9月の間に行われ、天候や市場の状況に応じて7月または8月にピークに達する(図2)。

図2 月別のレモン輸出量(トン)



出典: Trade Data Monitor, LLC

表3 レモン及びライムの世界への輸出量(トン)

輸出先国	商品コード: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥			年度初めから最新データまで(4月～9月)		
	2021/22(トン)	2022/23(トン)	変動率(%)	2023(トン)	2024(トン)	変動率(%)
世界	56,217	67,794	20.6%	62,709	86,173	37.4%
米国	31,222	41,672	33.5%	37,736	55,979	48.3%
日本	15,578	17,076	9.6%	16,656	18,420	10.6%
韓国	4,423	5,593	26.5%	4,978	7,439	49.4%
オランダ	901	1,634	81.4%	1,634	1,707	4.5%
イタリア	209	576	175.6%	576	432	-25.0%
スペイン	689	432	-37.3%	432	480	11.1%
オーストリア	0	288		288	599	108.0%
中国	1,558	124	-92.0%	99	74	-25.3%
ドミニカ共和国	54	97	79.6%	62	33	-46.8%
コロンビア	58	93	60.3%	74	65	-12.2%
その他	1,525	209	-86.3%	174	945	443.1%

出典: Trade Data Monitor, LLC

チリは2022/23年度に、1万3,200トンのレモンを輸入した。レモンの最大の供給先国はペルーで、ブラジル、コロンビア、米国がそれに続いた(表4)。ブラジルからのレモン輸入は、2020/21年度以降一貫して増加しており、2022/23年度の輸入量の30.6%を占めた。

表4 レモン及びライムの世界からの輸入量(トン)

輸入先国	商品コード: 080550、レモン及びライム、生鮮または乾燥					
	販売年度			年度初めから最新データまで(4月～9月)		
	2021/22(トン)	2022/23(トン)	変動率(%)	2023(トン)	2024(トン)	変動率(%)
世界	12,267	13,200	7.6%	5,645	5,798	2.7%
ペルー	8,567	7,837	-8.5%	3,575	4,040	13.0%
ブラジル	3,057	4,035	32.0%	1,264	1,182	-6.5%
コロンビア	500	1,177	135.4%	804	575	-28.5%
米国	142	149	4.9%	0	0	
その他	1	2	100.0%	2	1	-50.0%

出典: Trade Data Monitor, LLC

<オレンジ>

表5 チリのオレンジの生産需給統計

オレンジ(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2022/2023		2023/2024		2024/2025	
	2023年4月		2024年4月		2025年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	6,362	6,702	6,300	7,198	0	7,300
収穫面積(ヘクタール)	6,200	6,200	6,150	6,500	0	6,800
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	180	180	177	186	0	190
輸入量(千トン)	1	1	2	1	0	1
総供給量(千トン)	181	181	179	187	0	191
輸出量(千トン)	95	95	92	100	0	103
生鮮国内消費量(千トン)	75	75	76	76	0	77
加工仕向量(千トン)	11	11	11	11	0	11
総仕向量(千トン)	181	181	179	187	0	191

公式データは [PSDOnlineAdvancedQuery](#) からアクセスできる。

出典: 当事務所推計

<タンジェリン/マンダリン>

表9 チリのタンジェリン/マンダリンの生産需給統計

マンダリン/タンジェリン(生鮮) 販売年度の始まり チリ	2022/2023		2023/2024		2024/2025	
	2023年4月		2024年4月		2025年4月	
	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値	農務省公式	今回推計値
栽培面積(ヘクタール)	11,184	11,835	12,000	12,404	0	12,700
収穫面積(ヘクタール)	11,000	11,000	11,800	11,800	0	12,200
結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
未結果樹本数(千本)	0	0	0	0	0	0
果樹本数合計(千本)	0	0	0	0	0	0
生産量(千トン)	268	268	242	221	0	250
輸入量(千トン)	1	1	1	1	0	1
総供給量(千トン)	269	269	243	222	0	251
輸出量(千トン)	236	236	211	191	0	218
生鮮国内消費量(千トン)	30	30	29	28	0	30
加工仕向量(千トン)	3	3	3	3	0	3
総仕向量(千トン)	269	269	243	222	0	251

公式データは [PSDOnlineAdvancedQuery](#) からアクセスできる。

出典: 当事務所推計